

i 階層化されていく分類で、最下層が症例数 20 以上、一日当たり包括範囲点数変動係数が 1 未満というルールで分類され、支払い点数が決定された

ii 入院基本料等加算、指導管理、リハビリテーション、精神科専門療法、手術・麻酔、放射線治療、心臓カテーテル法による諸検査、内視鏡検査、診断穿刺・検体採取、1000 点以上の処置については、従来どおりの出来高評価である。それ以外の化学療法などの薬剤、画像検査、投薬などは包括範囲支払い評価となった

iii 疾患群に対して行われる手術群、処置群、副傷病名群、重症度などを、学会（保険医療に詳しい専門医集団）から意見集約し、最大公約数として定義テーブルに表記している。このテーブルを基にして、症例数や変動係数に留意しながら樹形図や支払いが決定されることが望ましいが、データに基づいた臨床的妥当性の検証が更に行われることが望ましい

iv 臨床的概念を重視し、臨床病名とそれに対する手術、処置、更には副傷病や各重症度を階層的に樹形図として表記している

v 乳頭部は C500、中央部は C501、上内側は C502、下内側は C503、上外側は C504、下外側は C505、腋窩部は C506、境界部は C508、C445、上皮内癌は D050-1,D057,D059,C509 とした。

vi 手術は 5 項目収集しており、組み合わせがあった場合、難易度の高いものを優先選択し、カテゴリー化している。090010では以下の妥当な手術群を選択した。

腫瘍切除は K474\$, 乳管腺葉切除は K474-2、単純乳房切除は K475、乳房切除+郭清は 4761-3、乳房切除+胸筋切除は K4764、拡大乳房切除は 4765 とした。

再建手術は K0121,K0122,K0123,K0124,K0131,K0132,K014,K476-2を皮膚移植(reconsum)とし、K0151,K0152,K0153,K016,K017,K019,K020,K022を遊離有茎組織移植術(reconfsu)とした。手術がない場合や、これ以外の手術は『手術なし他群』とした。

vii C(Comorbidity),C(Complication)と称する。更に Complication を併発症（入院後手術、処置と直接因果関係のない疾患）と続発症（入院後行われた手術・処置に直接因果関係のあるもの）とに区別することがある。今回併発症は深部静脈血栓症や肺梗塞としている。また続発症は各 MDC 毎に、T81\$,T84\$,T85\$,T87\$から妥当なものを拾っている

viii 今回副傷病として、MD 指標を活用したのは、現行定義テーブルの副傷病が MDC 間（DPC 間ですら）整合性がなく、未整理のままであり、これを整理する目的もかねて前述副傷病をリストアップし、これに前立腺肥大や深部静脈血栓、肺塞栓を追加した。肝障害のところにも妥当と思われる ICD10 コードを MD 指標に追加している。更に慢性疾患疫学では、他の指標として Charlson Index,Tu index があるが、ICD10 コードで定義しているのは MD 指標だけであるからである。

ix ICD10 コードでは E102-8,E112-8,E122-8,E132-8,E142-8 と MD 指標では定義している。他

x E100,E110,E120,E130,E140,E101,E111,E121,E131,E141,E109,E119,E129,E139,E149

xi F00-F021,F03\$,G30\$-G311

xii I260,I278-9,J41\$-47\$,J960,J961,J969

xiii I70\$,I71\$,I72\$,I73,I771,R02

xiv N18\$-N19\$,Z49\$,Z940,Z992

xv I50\$

xvi M05-M06,M08-M09,M32\$-M34\$,M35\$

xvii K700,K701,K709,K710,K713-716,K718,K719,,K721,K729,K73\$,K748,K760-761,K768-7

69

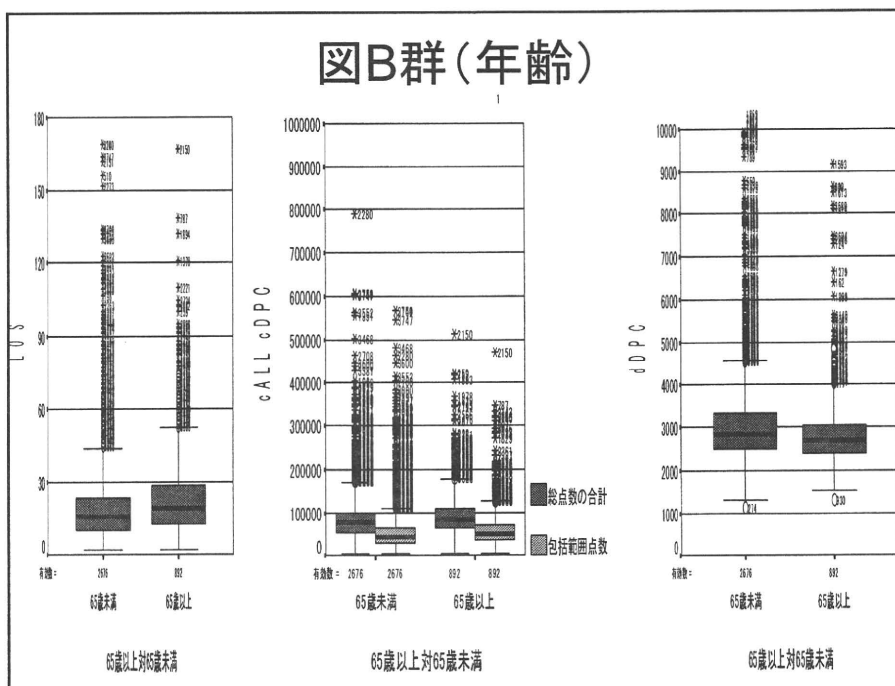
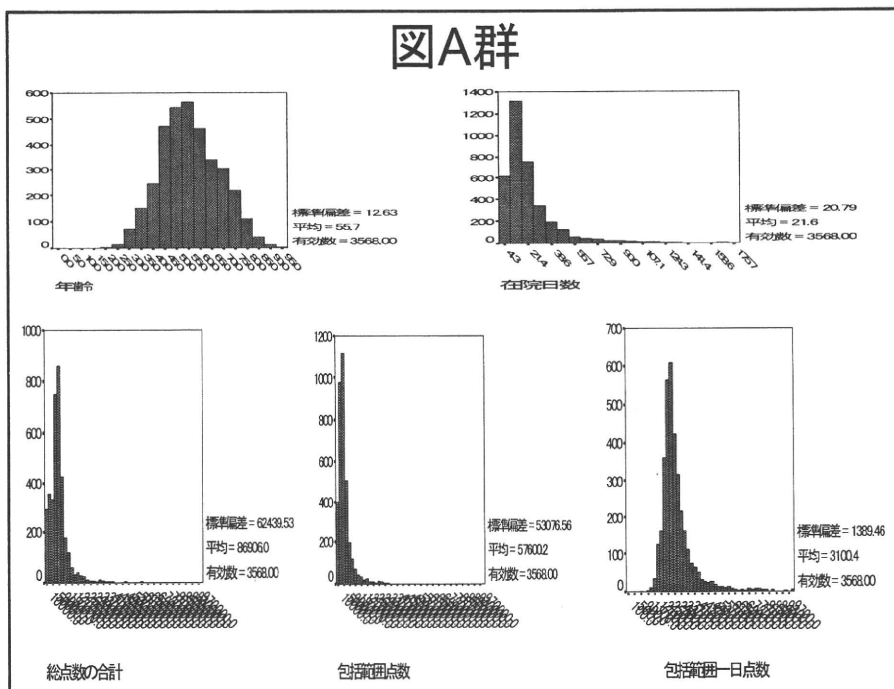
xviii I850,I859K702-704,K711,K712,K717,K720,K740-746,K762-767

xix N40

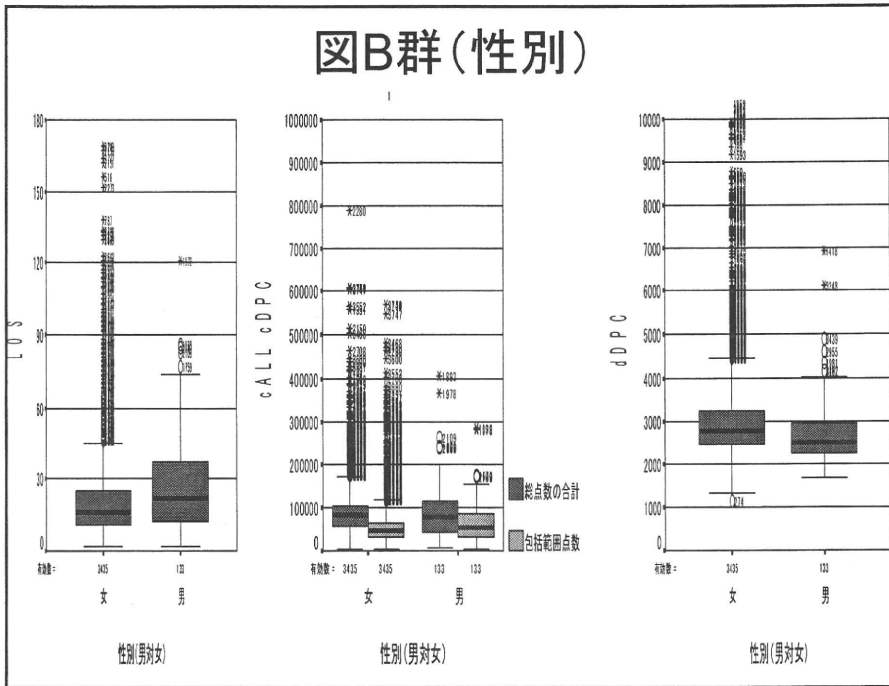
xx I260,I269,I80\$

xxii T81\$,T854 とした。創感染、出血などを意味する。

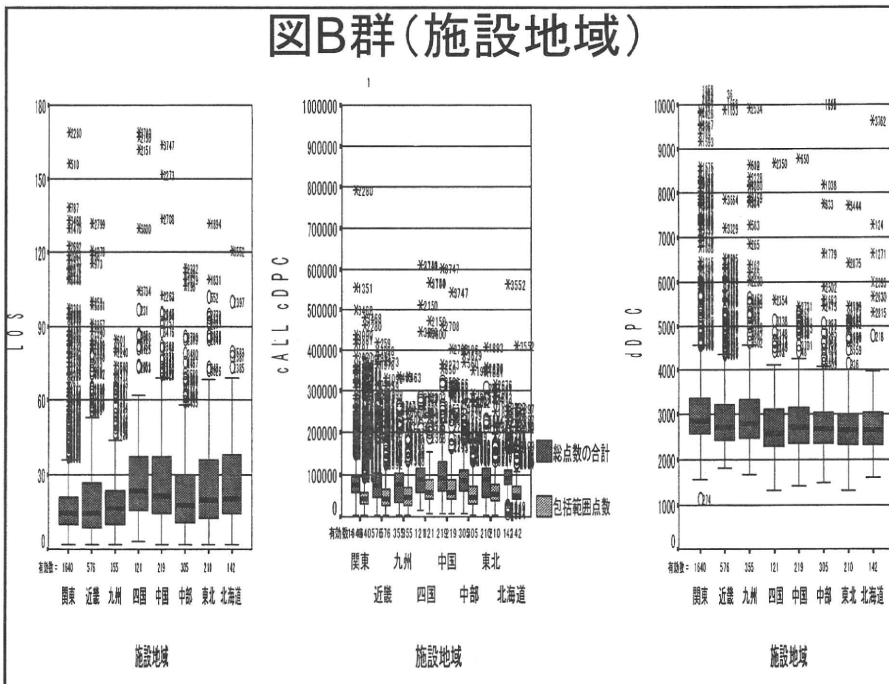
xxiii 対照は年齢では 65 歳未満群、女性、地域では関東、私立とした。部位、手術などでは『不明群』、『手術なし他群』を対照とした。他因子は無群を対照とした。説明因子が 10 症例以下の場合、因子投入しなかった。



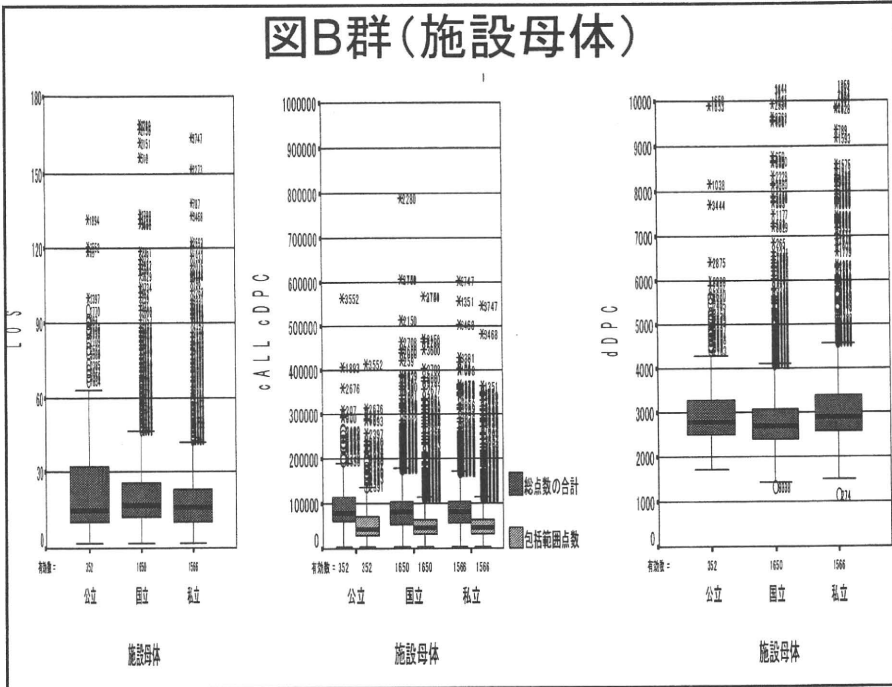
図B群(性別)



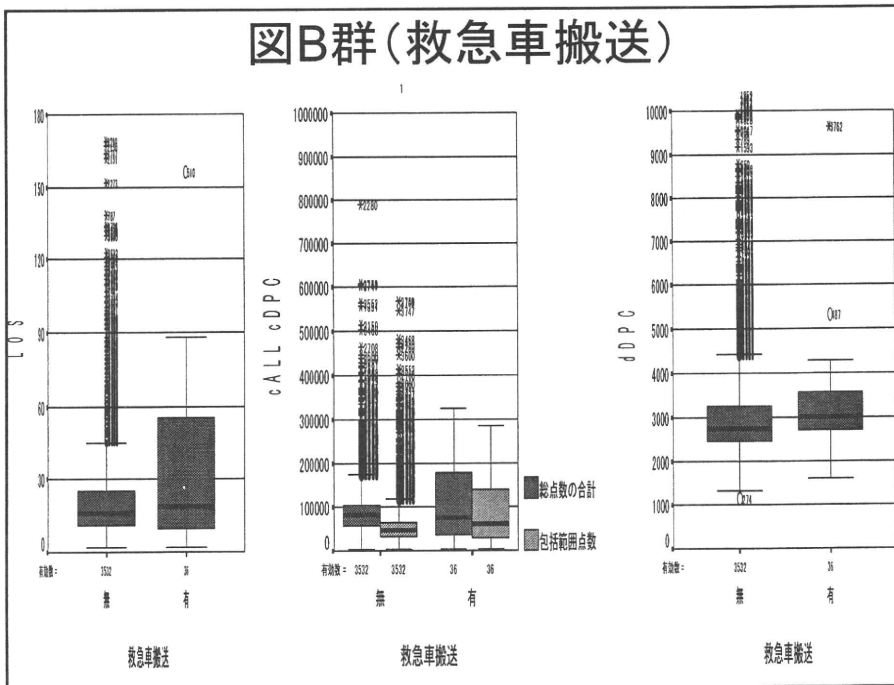
図B群(施設地域)



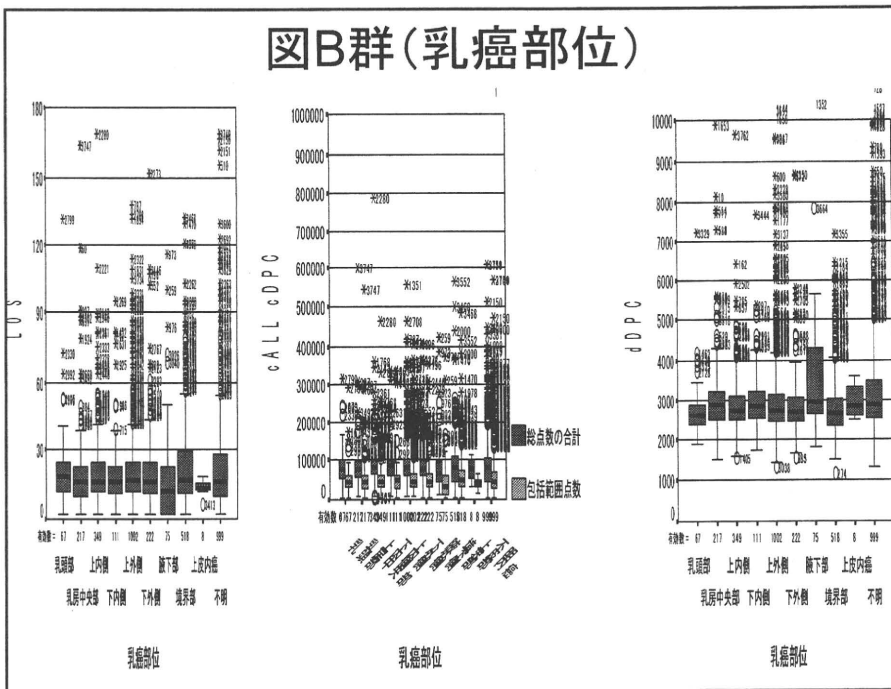
図B群(施設母体)



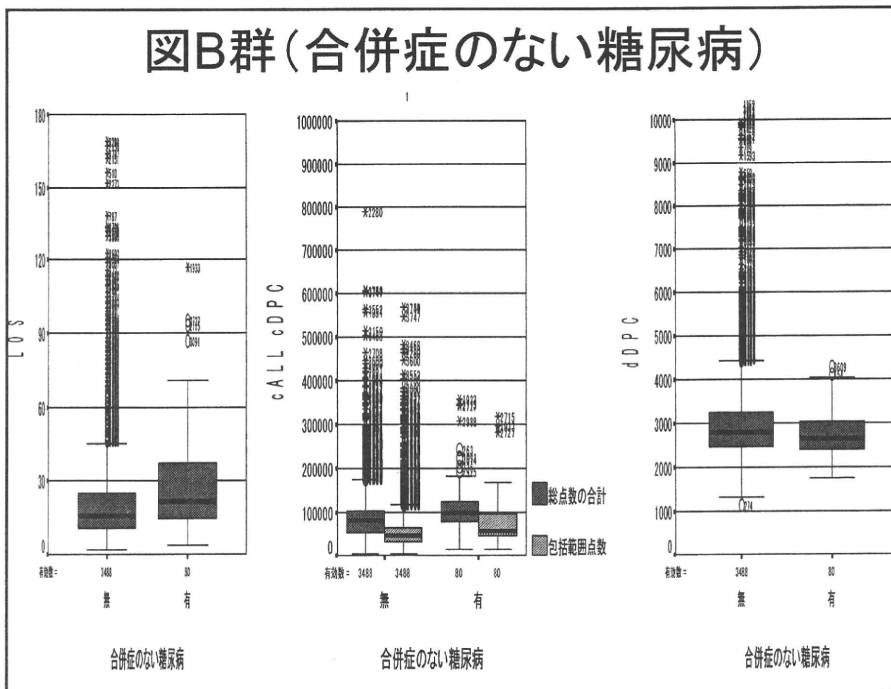
図B群(救急車搬送)



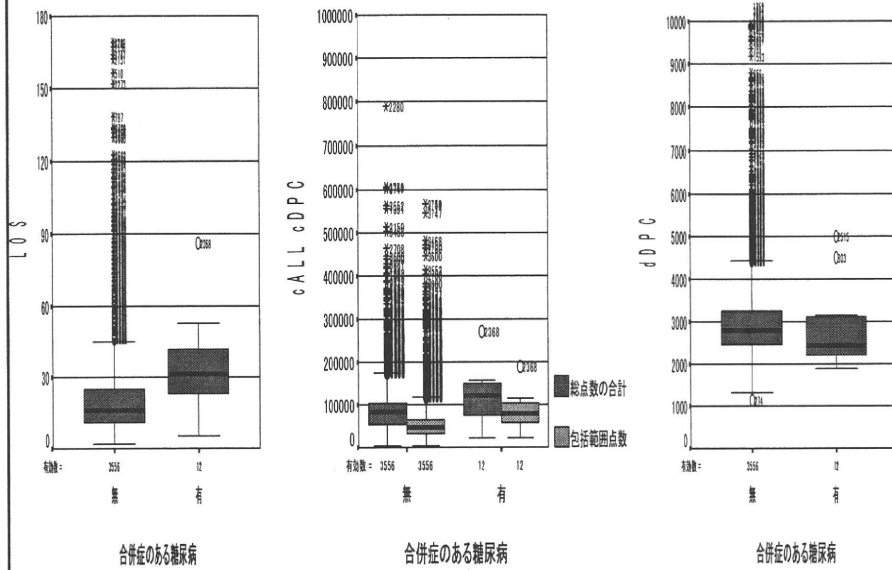
図B群(乳癌部位)



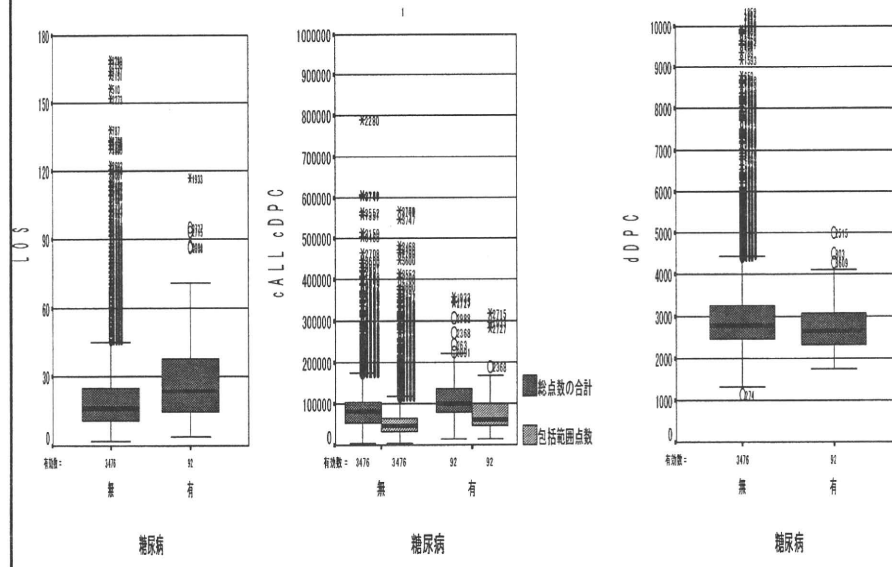
図B群(合併症のない糖尿病)



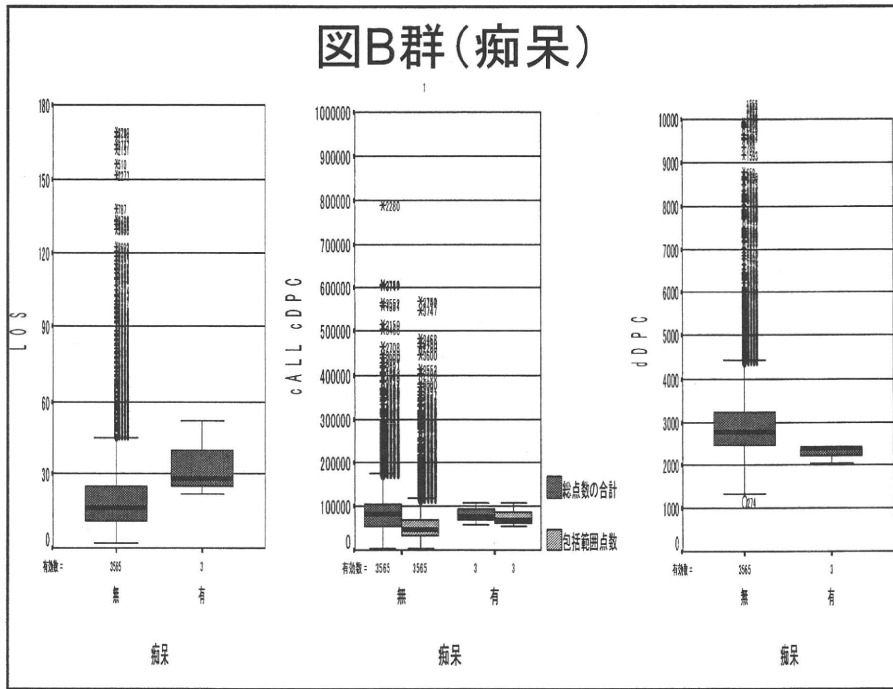
図B群(合併症のある糖尿病)



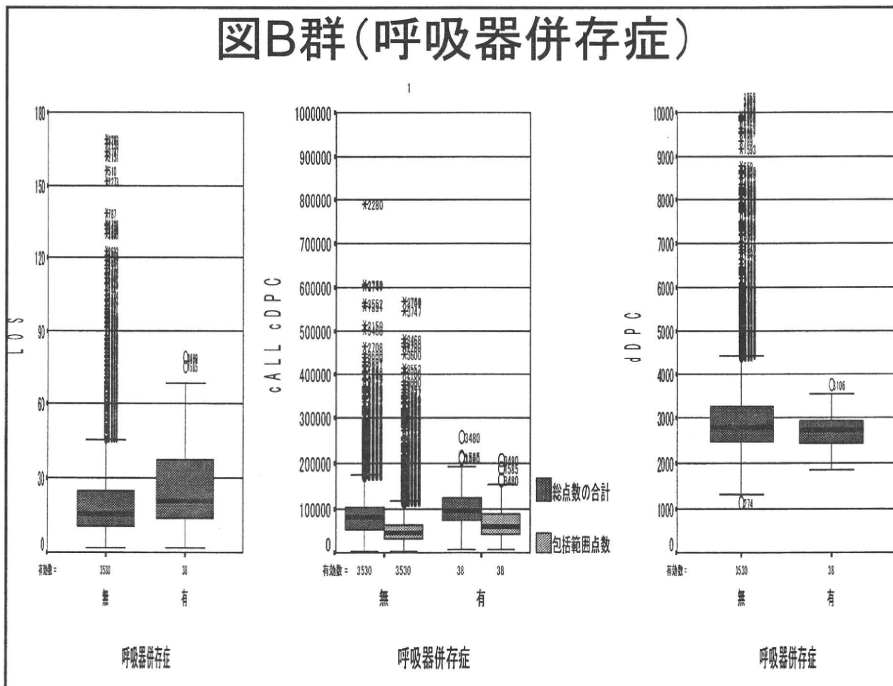
図B群(糖尿病)



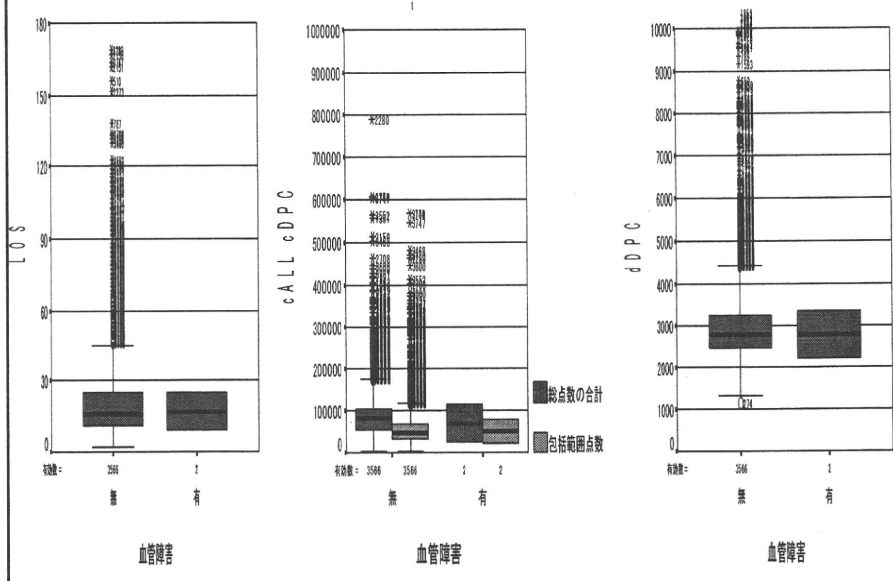
図B群(痴呆)



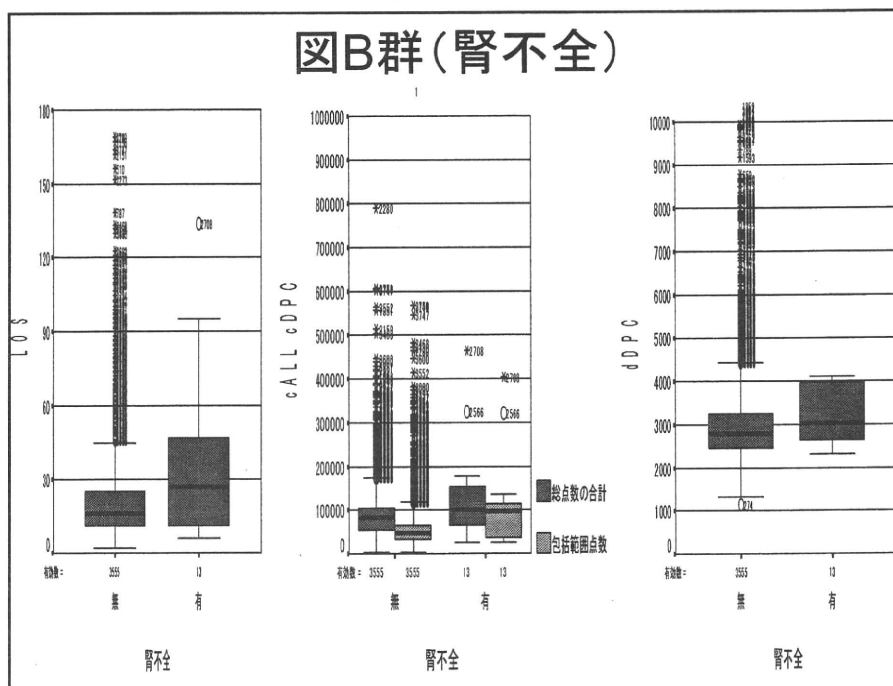
図B群(呼吸器併存症)



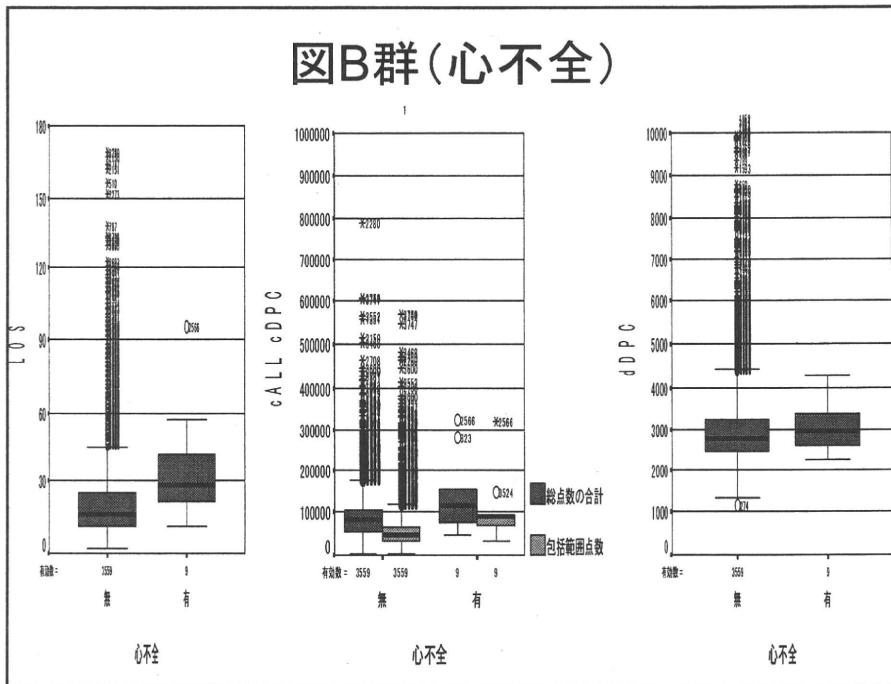
図B群(血管障害)



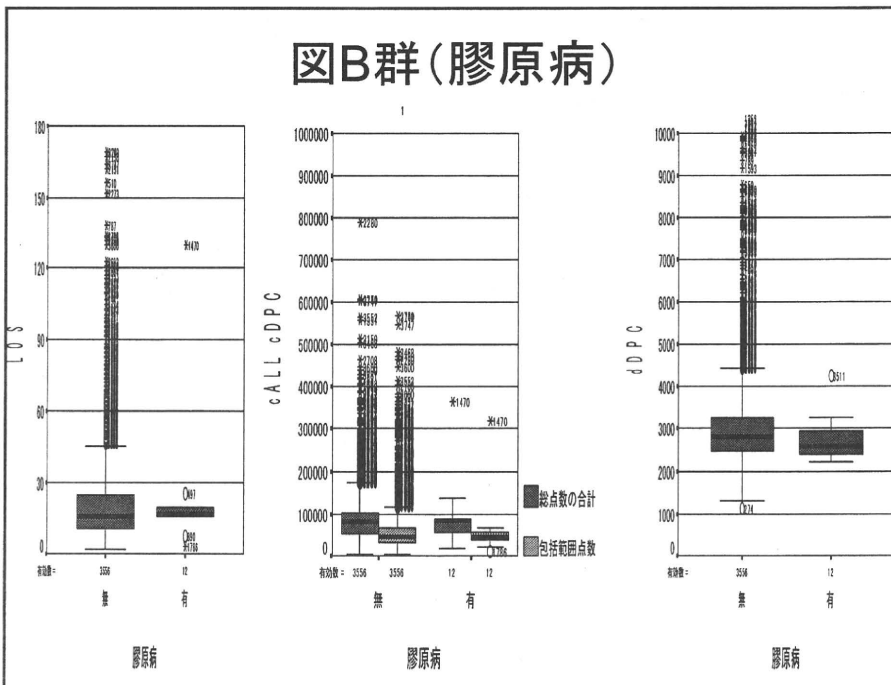
図B群(腎不全)



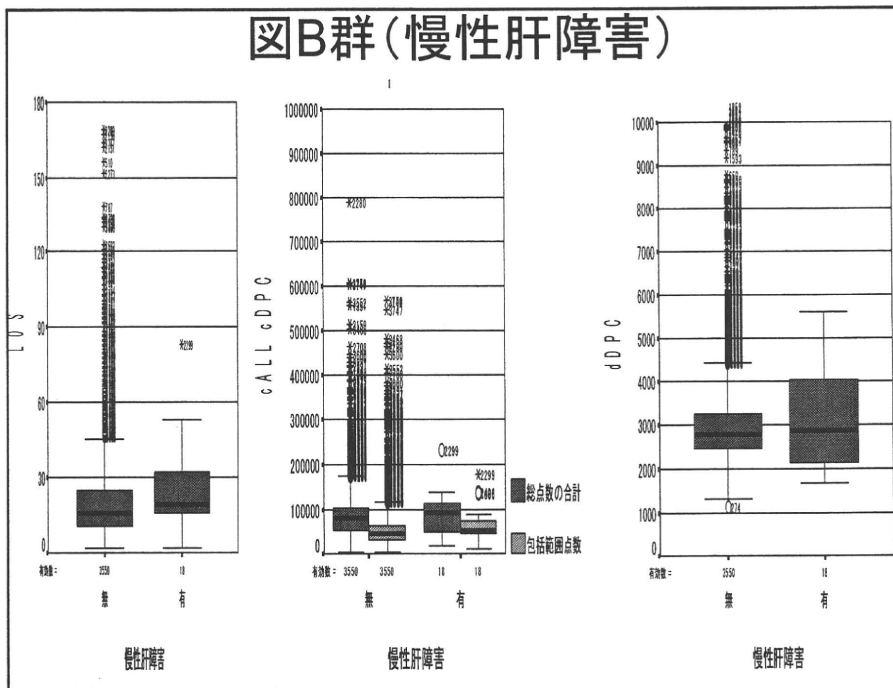
図B群(心不全)



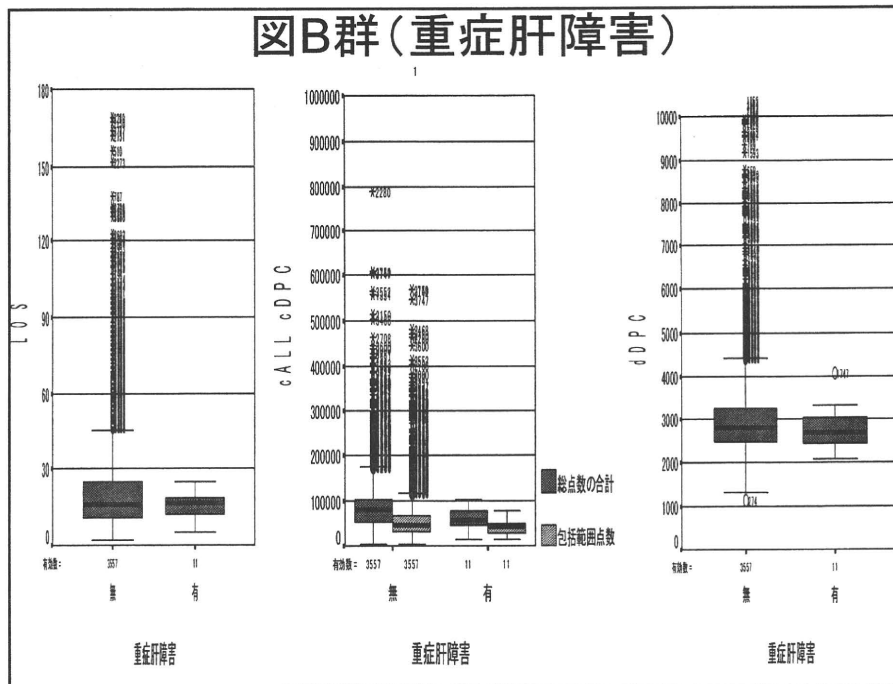
図B群(膠原病)



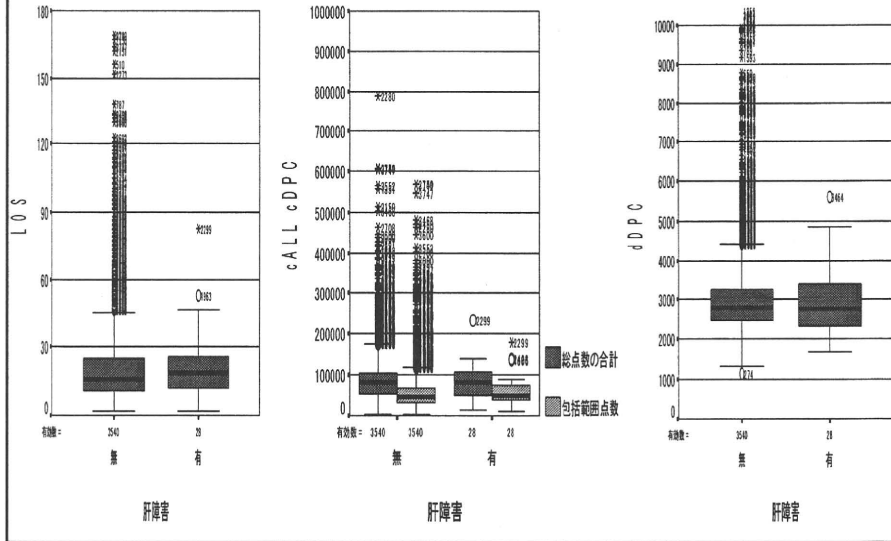
図B群(慢性肝障害)



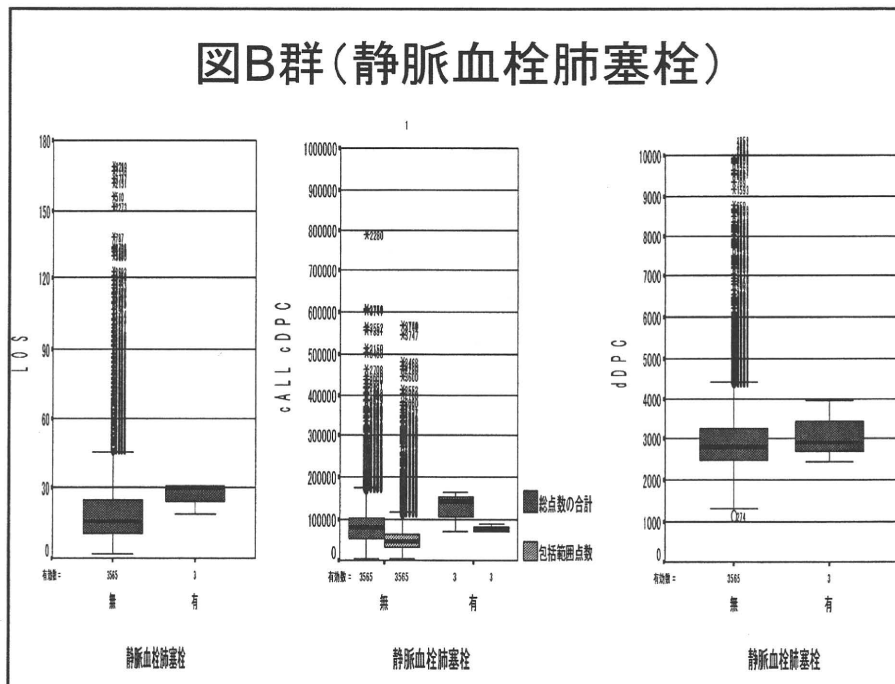
図B群(重症肝障害)



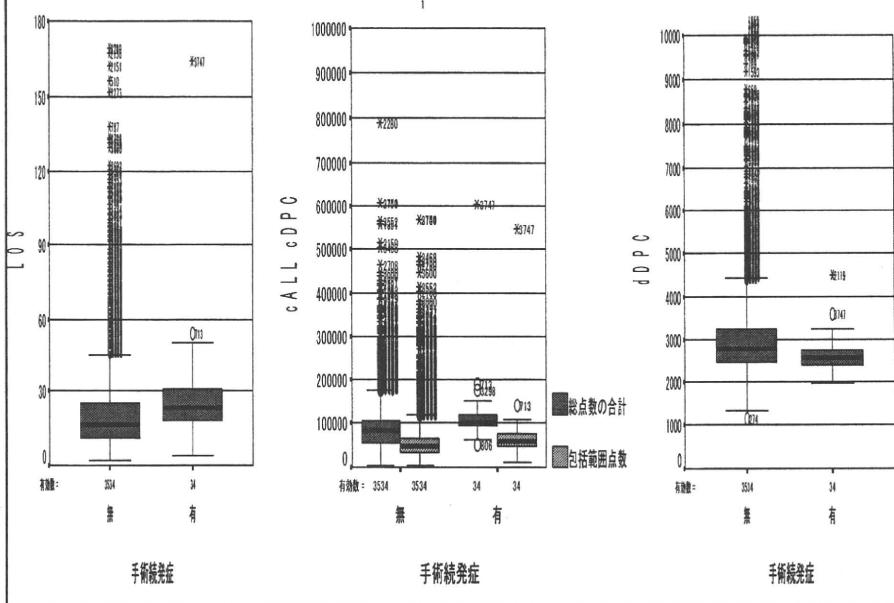
図B群(肝障害)



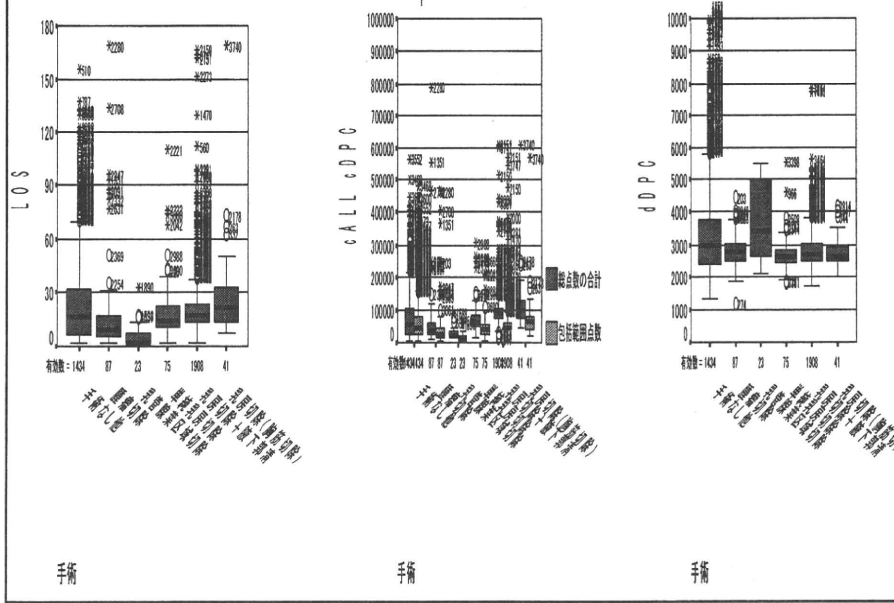
図B群(静脈血栓肺塞栓)



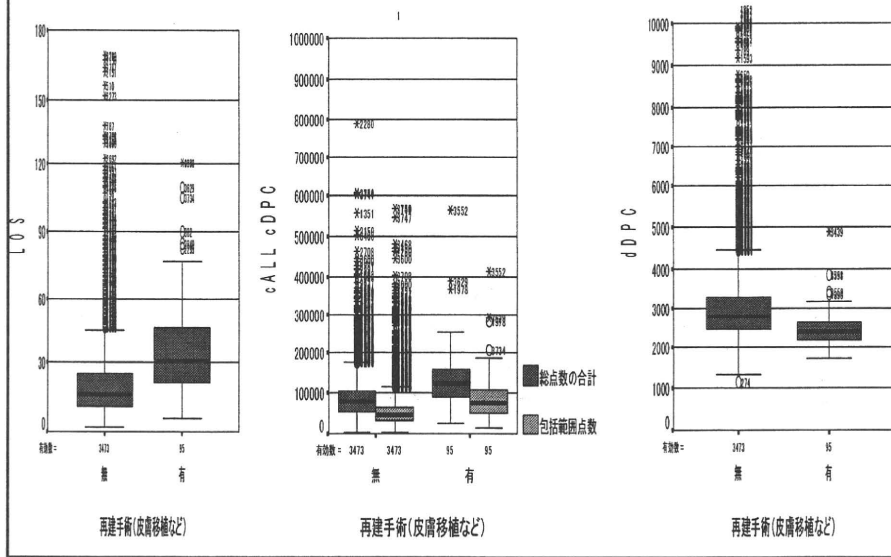
図B群(手術関連続発症)



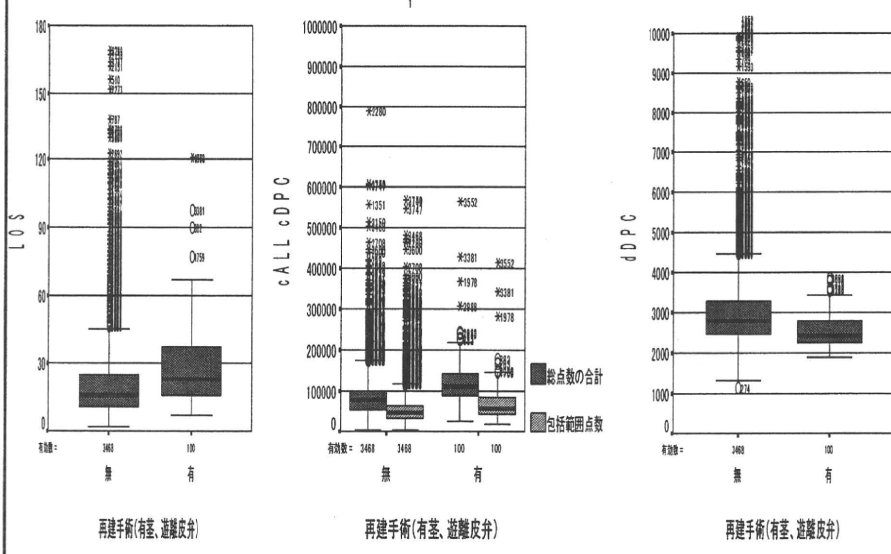
図B群(手術)



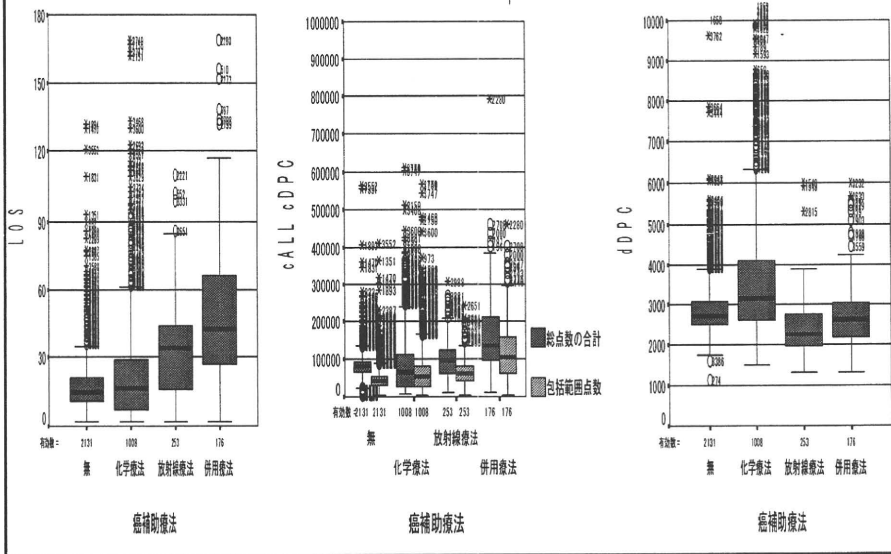
図B群(再建手術(皮膚移植など))



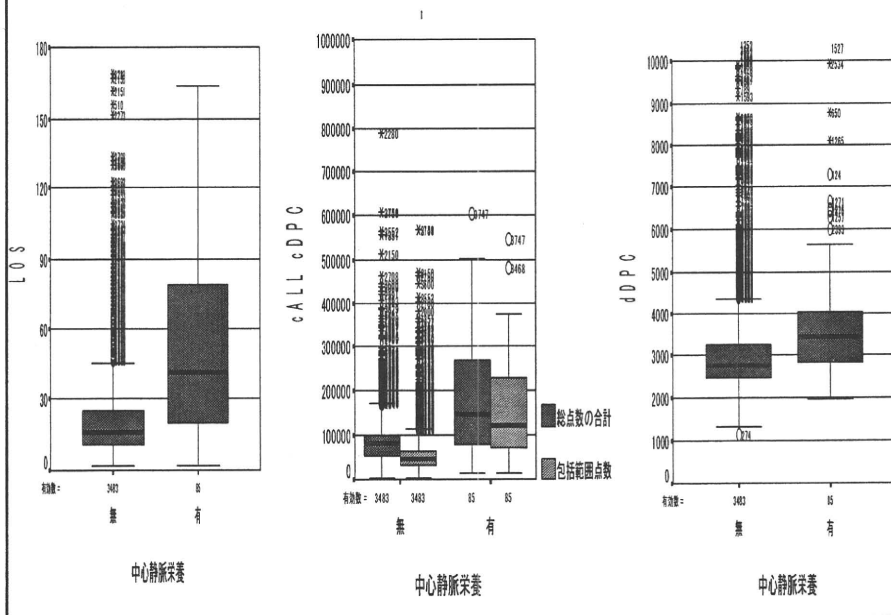
図B群(再建手術(有茎、遊離皮弁))



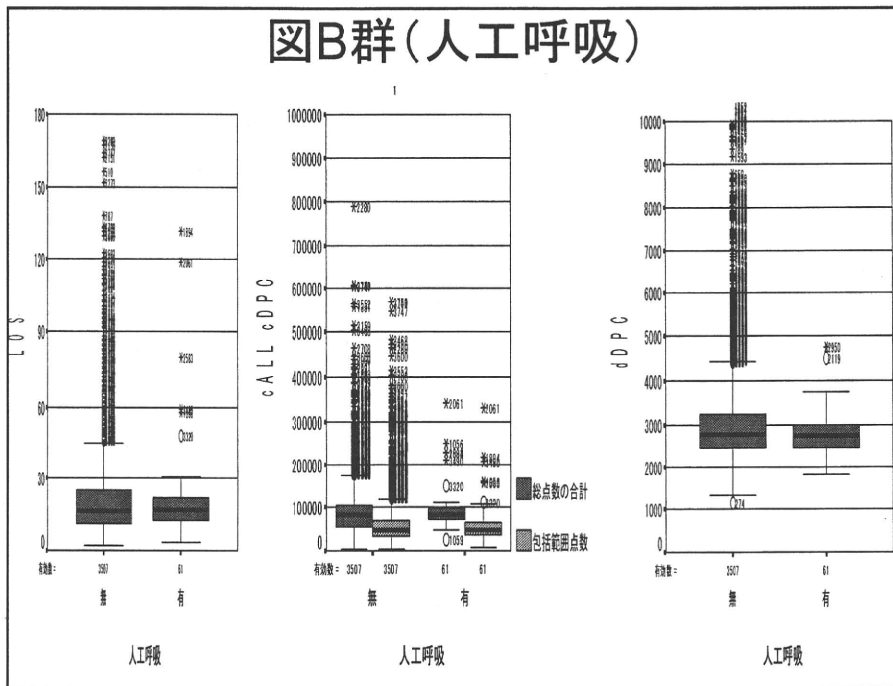
図B群(癌補助療法)



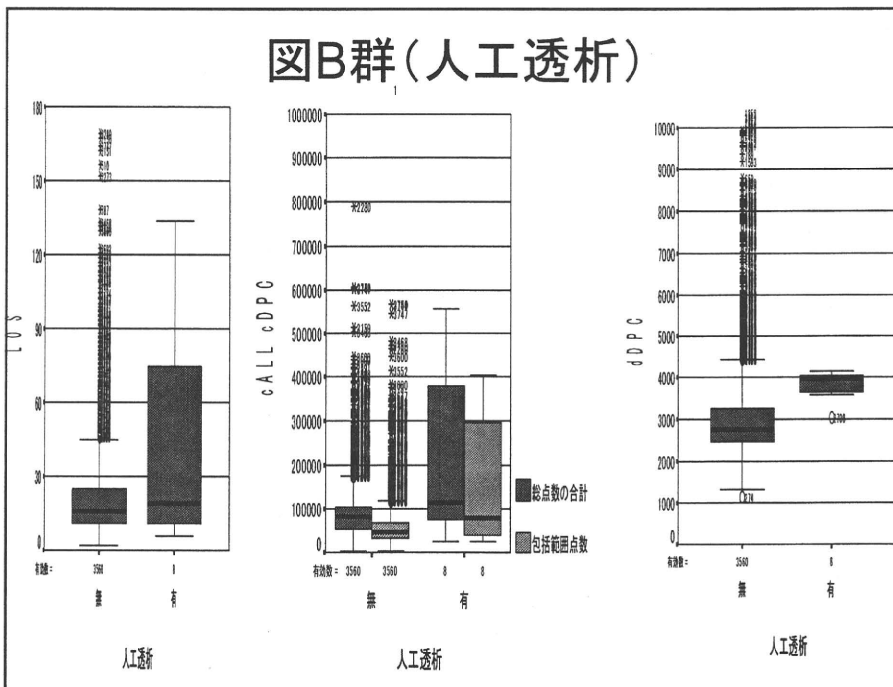
図B群(中心静脈)



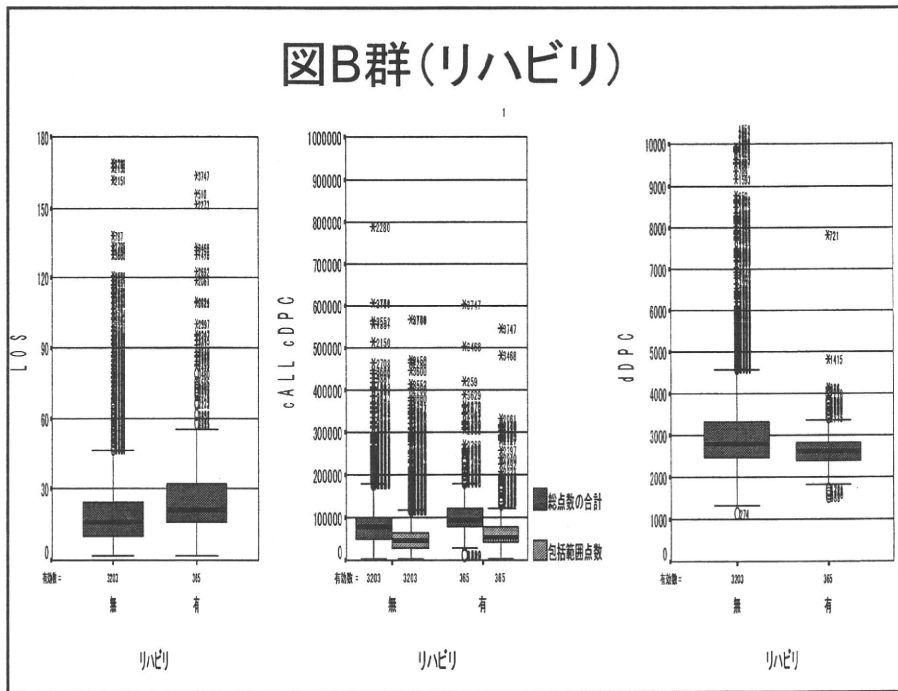
図B群(人工呼吸)



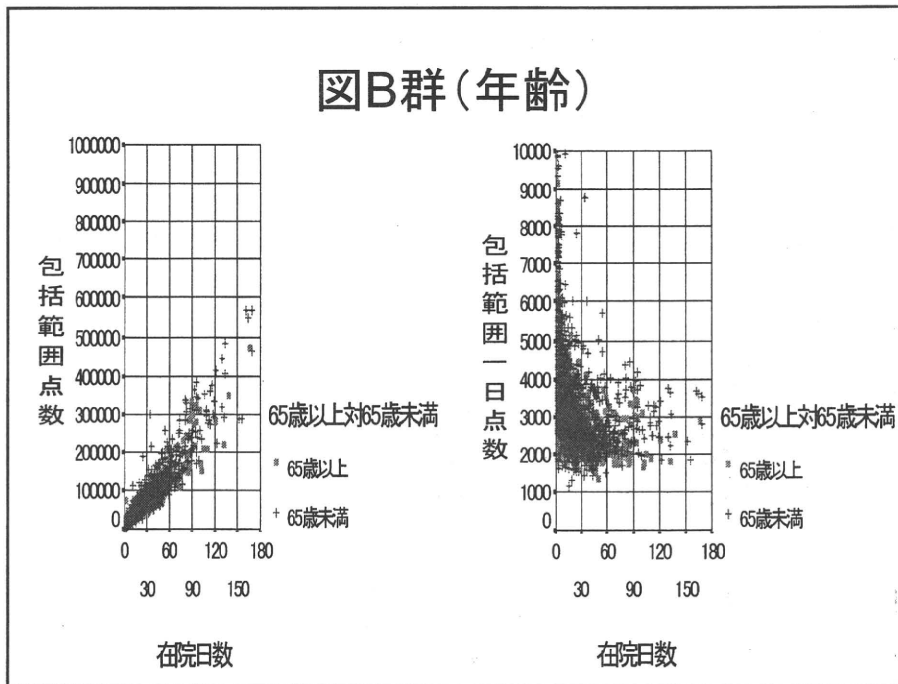
図B群(人工透析)



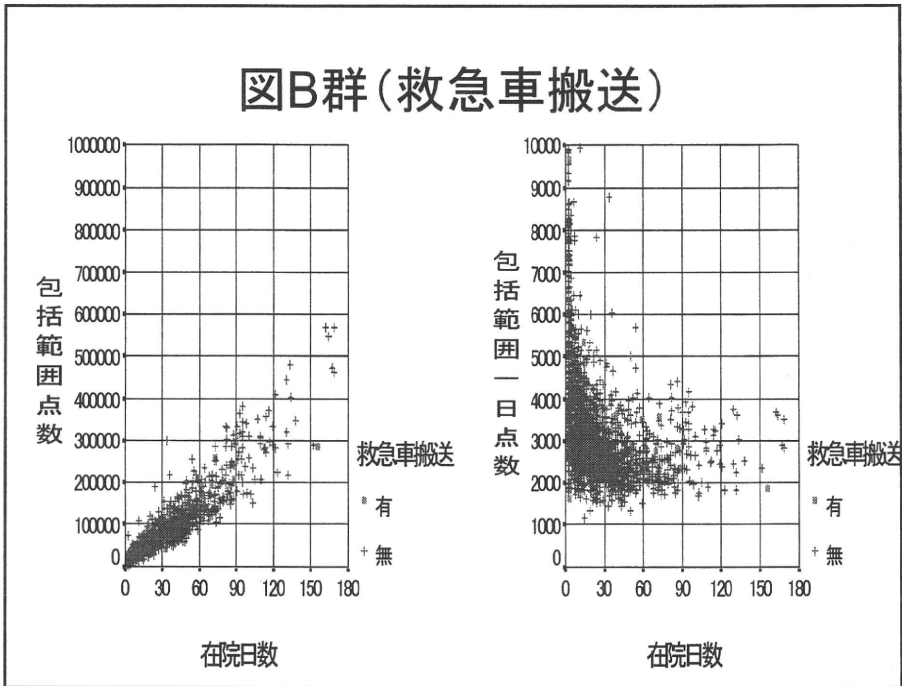
図B群(リハビリ)



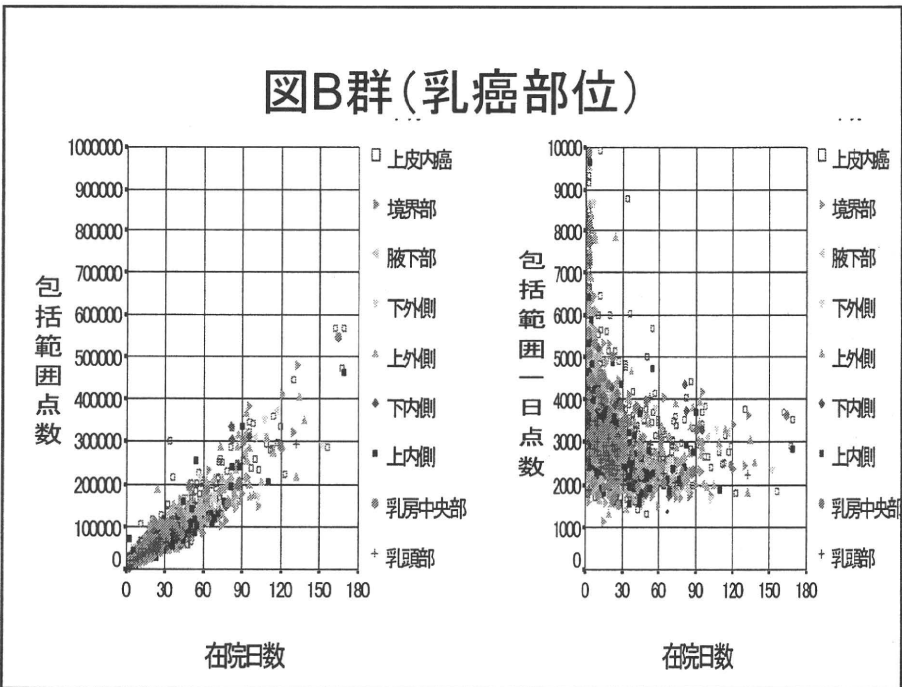
図B群(年齢)



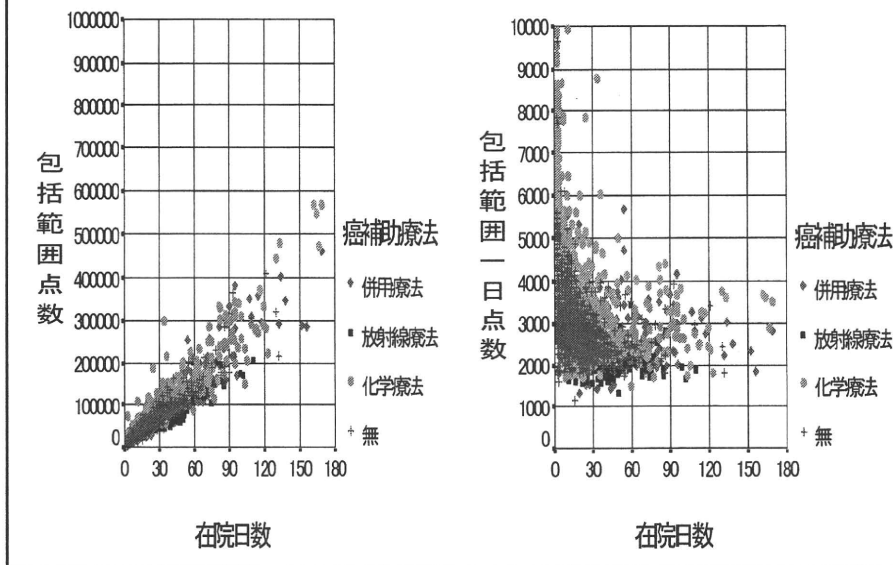
図B群(救急車搬送)



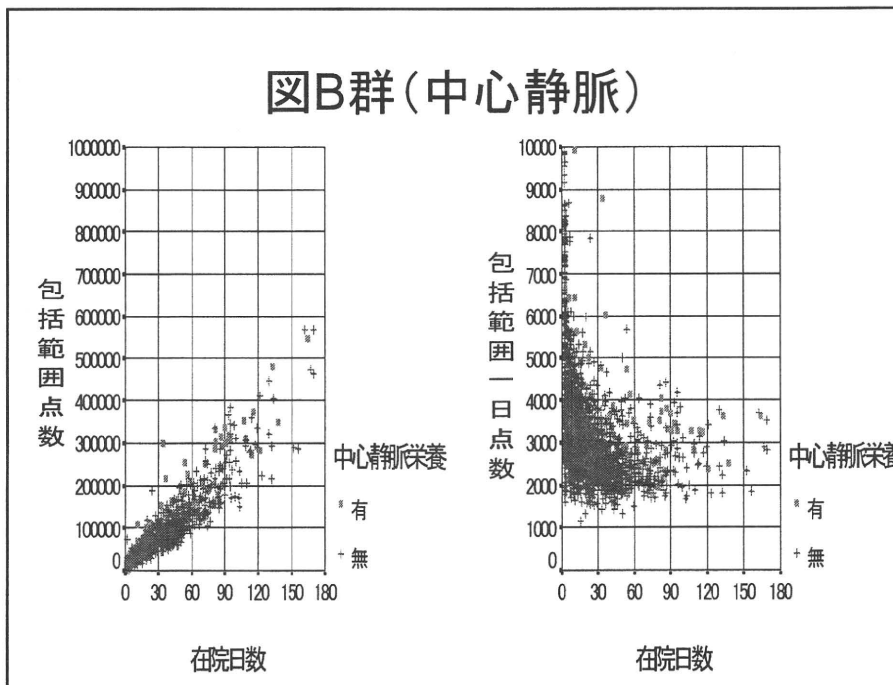
図B群(乳癌部位)



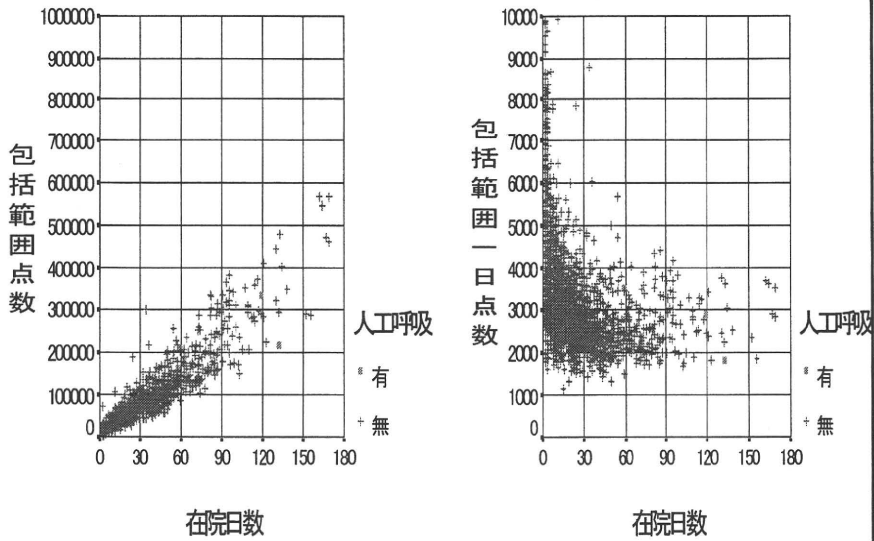
図B群(癌補助療法)



図B群(中心静脈)



図B群(人工呼吸)



図B群(手術)

